

事務事業名	叙勲受章祝賀会実施事業				担当	総務部 秘書課 秘書政策係		
政策名	H	施策体系外			増補版施策名			
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S 3 9 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	1. 一般管理費				
事業概要	市民が生存者叙勲を受けた場合に、市長と功績に係る団体の長が発起人となり、国・県・市の議員、名誉市民、市政功労者、過去の叙勲受章者、特別職等要職者に呼びかけ、叙勲受章祝賀会を開催する。原則として会費制であるが、記念品代、パンフレット作成費等については、公費より支出する。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 ・受章者に趣旨を説明し意向を確認して、日時、場所を決定。 ・招待者への通知等の準備を行う。 ・当日は受章者の送迎、受付、会の進行を行う。 ・29年度は受章者全員が祝賀会を辞退。 30年度計画 平成29年度と同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	祝賀会実施回数	回	1	1	2	0	2	
	イ								
	ウ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 叙勲受章者、招待者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	叙勲受章者数	人	5	6	15	12	12	
	イ	招待者数	人	139	178	363	-	300	
	ウ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 叙勲者の受章を祝い、功績をたたえる。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	功績をたたえた割合	%	100	100	100	-	100	
	イ								
	ウ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民意識の高揚に結びつける。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
	ア	祝賀会に出席した招待者数（割合）	%	46.0	65.7	62.0	-	62.0	
	イ								
	ウ								
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	188	268	619	252	727
	事業費計(A)			千円	188	268	619	252	727
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	2	
		延べ業務時間	時間	20	20	20	5	20	
		人件費計(B)	千円	84	84	83	21	83	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	272	352	702	273	810

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	叙勲受章者の功績をたたえ、市としても名誉なことであり、祝賀会を実施すべきとの気運が高まった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	